

Adonis アドニス [ふくじゅ草]



北海道看護協会 北網支部ニュース
2018年3月 編集責任者：福田 尚子

北網支部で行われた支部担当研修と小規模病院等施設間交流研修のレポートを紹介します。
また、会員入会率向上を目指し、看護協会への入会募集ポスターを支部で作成し配布しました。

研修 Report

支部担当研修「基礎から学ぶフィジカルアセスメント」
9月2日（土） 網走厚生病院 大会議室
講師：弥富 祐樹 氏

フィジカルアセスメント研修会に参加して

北見赤十字病院 篠木 靖子

日々の業務で当たり前のように行っているフィジカルアセスメントですが、実践の現場ではいまさら聞けないなと思うことを掘り下げて学ぶことができました。午前中の講義では、フィジカルアセスメントの基本、判断に困ったときや異常を見逃さないポイント、報告の方法など学ぶことができました。グループワークでは問診によるシミュレーションを行いすぐに実践に結びつけられるものになりました。一日かけての研修だったため、リラックスできる雰囲気や休憩を何度も設けていただき、飽きずに最後まで学ぶことができました。

フィジカルアセスメントは時に、道具を使わずに患者様の状態を把握する簡単な方法ですが、初期評価には経験や知識、判断力が必要になってくる奥深いものです。今まで行っていたことの根拠づけにもなりましたし、救急患者のトリアージをするときにはもちろん、スタッフの指導の場面でもとても役に立つと感じた研修内容でした。



講義の様子



事例にもとづいたシミュレーション

小規模病院等施設間交流研修に参加して

北海道立北見病院 川村 美穂

私は今回訪問看護ステーションの研修に参加させていただきました。

今回の研修では「在宅で在宅酸素療法を受けている患者様の援助の実際を知り、退院時の自己管理指導や継続する援助に活かす」ということを研修課題にあげました。

実際に退院時に関わった在宅酸素療法を使用している利用者様の自宅に訪問させていただき、自己管理指導の見学をさせていただきました。訪問した利用者様は退院後、携帯酸素の取り扱いが不慣れなため、訪問した際には実際に携帯酸素の元栓の開閉や電源を入れるなどの操作をしてもらい手技の確認を行っていました。在宅

酸素導入時、パンフレットを使用し手技の練習を行っていますが、入院中だけでは使い方を覚えられないため退院時には手技がどのくらいできているか、在宅酸素についての理解度について情報提供していくことが大切だと改めて学びました。



小規模病院等施設間交流研修に参加して

美幌町立国民健康保険病院 福田 恵美子

オホーツク管内で心臓血管外科手術を専門に行っている病院なので手術前後の看護や感染対策について学びたいと思い北海道立北見病院の研修に参加させていただきました。印象に残ったのは、感染管理・医療安全管理の実際です。過去にインフルエンザに罹患した事務職員が自分は直接患者様に関わる事もないからと勤務していた事例から、看護職以外にも標準予防策は必要で正しく理解してもらうために手洗い評価は事務員や掃除の委託業者、売店に勤務する人、ボイラー担当の人まで行き、2ヶ月に一回 ICT ニュースを院内掲示板に載せてその中で優秀者の発表をしている。清掃ラウンドでは各病棟以外に透析室や手術室用の点検項目が細かく記され、病院を建てる時に廊下に埃が溜まらないよう角を丸く

した床にしたと聞きました。感染対策に病院全体で取り組んでいると学びました。研修は一日でしたが他院で感染対策や医療安全を学べたことは貴重な体験でした。実際に成果がわかり他職種の連携が必要だと学びました。

